

# シアナミド液剤による無加温栽培「ピオーネ」の着色向上と収穫期の前進化

「ピオーネ」の収穫期を約1週間前進することで、高需要期である盆前の安定出荷を可能にする生育調節技術

## 研究開発の背景

- ・ブドウ「ピオーネ」は、収益性が高い8月のお盆前の高需要期に収穫できるように無加温栽培が行われているが、春期の気温条件による開花の遅れや、夏季の高温による着色不良などにより、収穫が遅れる年がある。
- ・休眠打破による生育促進により、収穫期を安定的に前進化させる技術が求められている。

## 研究成果の内容

### シアナミド液散布による収穫期の前進と着色向上する生育調節技術

「ピオーネ」の2月中下旬にフィルム被覆する作型における休眠打破剤を活用した新技術

#### 1. 収穫期の前進化効果

シアナミド0.5%液を1月中旬に散布することで、**発芽期が約10日、開花盛期と収穫盛期が約6日早くなる。**

#### 2. 果皮着色の向上効果

散布処理により着色良好となり果皮色が**濃い紫黒色**となる。

シアナミド散布と生育相			
試験区	発芽期	開花盛期	収穫盛期
散布	3/15	5/6	8/5
無散布	3/25	5/12	8/11

\* 平成24年～26年の3カ年平均  
\* シアナミドの商品名: CX-10(農林水産省登録第20344号)



果房の色(上段:散布、下段:無散布)

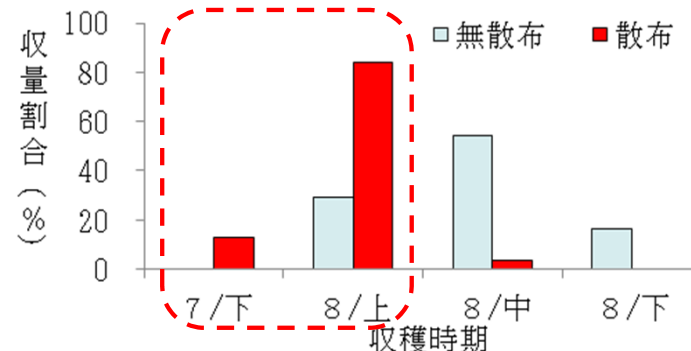
シアナミド散布と果実品質				
試験区	果房重 (g)	糖度 (Brix)	酒石酸 (g/100ml)	果皮色色票値
散布	560	17.8	0.49	8.0
無散布	579	17.3	0.53	6.7
有意性	ns	ns	ns	*

\* 平成24年～26年の3カ年平均

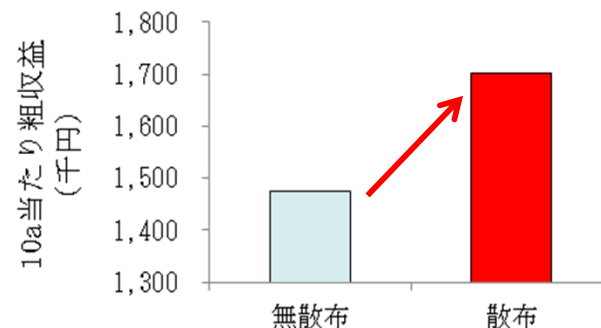
導入メリット

### 高需要期の出荷割合が高まり、粗収益が増加

- ・高需要期である8月上旬までの収量割合が高くなる



- ・推定粗収益は収穫期の前進化により**約22万円/10a増加**



## 期待される効果

- ・8月のお盆前のお盆前出荷が困難な無加温栽培「ピオーネ」園において、シアナミド液剤を散布することで着色良好な果房の盆前収穫率が向上し、高需要期のお盆前出荷が安定して収益性が向上する。

導入をオススメする対象  
九州を中心とする西南暖地の無加温栽培「ピオーネ」生産者